



福島県立葵高等学校

進路だより

2020年/2月18日(金)発行

第10号

突っ走るしかない!!

前向きに・・・あと30日しかない、と思うと焦りが出てくるが、そこをそうではなく、30日でやれることをやるのだ。30日あれば、結構できることがあるはず。焦ることなく、一つ一つを確実にこなしていこう。マイナス志向ではなく、プラス志向で前向きに。

みんなができる問題を確実に・・・合格するために大事なことは、多くの人が解ける問題を確実に解く、みんなが解ける問題でミスをしない、ということだ。そのために、これまでの模試で間違った問題、特に基本的な問題(数学なら各大問の前半の問題)を解けるように復習しよう。

苦手分野の穴埋めを・・・基本ができていないところに、いくら演習量を増やしても積み上がっていかない。1ヶ月でやれることは結構ある。不得意分野は教科書や以前使った問題集の基本問題に取り組み、少しでも基礎固めをしておこう。新しい問題集を買ったり手をつけたりせずに、これまで使った問題集をとことん使い切ろう。

特別扱いはなし・・・受験生だからといって、特別扱いはなしだ。日々の家の手伝いもしよう。大掃除も気分転換に少しはしてみたらどうか。体を動かしたり、ちょっとした会話は気分転換になるかも。

進路関係の行事予定

12月21日(月)～26日(土) 冬季補習(全学年)

1月6日(水)7日(木) 共通テストプレテスト(3年)

1月16日(土)、17日(日) 大学入学共通テスト

1月18日(月) 共通テスト自己採点

(←ここまでが共通テストです。休まないように!)

1月23日(土) 国公立大学出願検討会 1月25日(月)～2月5日(金) 国公立大学出願

1月22日(金)、23日(土) 進研模試(2年) 1月23日(土) 進研模試(1年)



早いもので2学期の終業式である。共通テストまで4週間だ。周りでは学校推薦型選抜や総合型選抜で合格を手にした者もいる。一般選抜で勝負する人は気が気でないだろう。しかし、焦ったところで何も良いことはない。一途に目標に向かって、ひたすら勉強するのみ。現役生は最後の最後まで伸びることを信じて、最後まで頑張りぬこう!

1、2年生は、まだ先のことと思わずに、将来なっていたい自分の姿をイメージして、今、すべきことときちんと向き合い、日々の積み重ねを実行しよう!

進研模試の復習をしよう(1,2年生)

『模試は受けることより、むしろ受けた後の方が大事である。受験後っていつのこと? まずは模試の当日から数日後までの間と、成績票が返ってきたとき。少なくとも2回は復習するタイミングがある。』

進路だより『ベクトル』第8号(令和2年10月30日発行)に書いたのだが、その11月進研模試の成績票が返ってきた。1年生も2年生も7月模試に比べて英語の伸びが顕著であり、国数英の総合偏差値も上昇した(ただし1年生に関しては、県内の主な学校はそろって伸ばしてきているので、油断してはならない)。

さて、成績票が返ってきたこのタイミングで、模試の振り返りをしよう。

成績票では、どうしても全国偏差値に目が行きがちだが、注目してほしいところはそこではなく、設問別成績である。これは、各教科で設問ごとに、自分の得点、全国平均点、そのグラフが表示されていて、その教科の中でもっとも出来が悪かった分野に▼マークがついている。まずは、それぞれの教科で▼の分野の問題の復習をしよう。一番弱いところを補強せずに成績の向上は望めない。このとき、解説解答の冊子を一通り読むこと。解き直して正解したとしても、自分の考え方が正しいかどうかを確認するために読もう。

オンライン〇〇を利用しよう(1,2年生)

コロナ禍により、日常生活に今までとは違った様式が入り込んできた。オンライン〇〇もその一つ。ふさぎ込んでばかりはいられない。どうせなら、それを上手に利用しよう!

例えば、地元福島大学では、『オンライン相談会』を行っている。スマホを使うなら、福島大学のホームページで、メニュー → 受験生 → オンライン個別相談会、と進むことで『オンライン相談会』にたどり着ける。大学の職員の方が対応してくださり、入試のことや学科のことなどについて相談したり、話を聞いたりすることができるようだ。

これとは別に、福島大学生活協同組合が行っているオンライン相談会もある。こちらは現役の大学生が大学生活のことについて相談にのるものと思われる。

いずれもzoomを用いて、予約制である。まずは大学のホームページへLet's go! また、関心のある大学のホームページも見よう。冬休みは、日頃できない情報収集をする絶好のタイミングでもある。